

山形いふき



YNA 夢・ナーシング・愛



置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院

公立置賜総合病院は、平成12年に自治体病院の統合再編により設立された病院で、全国に先駆けてサテライト方式を採用した置賜広域病院企業団の基幹病院です。開院以来、置賜地域における中核医療機関として、地域住民の健康福祉に大きな役割を果たし今日に至っています。また、救命救急センターを併設し救急患者をいつでも受け入れられるよう対応しています。

看護部理念「確かな技術と笑顔で支える思いやりの看護」に取り組んでいます。

看護部長 吉岡 良子



TOPICS

- ◆ 会長・新役員あいさつ
- ◆ コロナ禍で奮闘する看護職への応援メッセージ
- ◆ 職能合同研修会報告・職能だより
- ◆ 新型コロナウイルス感染対策応援派遣ナース事業
- ◆ 訪問看護ステーション活動
- ◆ 私のリフレッシュ
- ◆ ナースセンターだより

	保健師 354
	助産師 366
	看護師 6,884
	准看護師 144
	計 7,748

令和3年度会員数
(7月現在)



公益社団法人 山形県看護協会

ホームページ <http://www.nurse-yamagata.or.jp>
山形県看護協会



県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」からもリンクで

きます。機種によってはアクセスできない場合があります。



令和3年度通常総会を終えて

今、求められている看護への期待

公益社団法人 山形県看護協会 会長 若月 裕子



この度、通常総会にて承認を賜り、井上栄子前会長より引き継ぎ、山形県看護協会会长として務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

会員、看護職、関係機関の皆さんには、日頃より山形県看護協会の活動にご支援とご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。併せて昨年からの新型コロナウイルス感染症におきましては、看護職の皆さんが最前線でご対応に当たられ、今までにない経験とご苦労をされ、尽力されてこられました事に、感謝を申し上げるとともに敬意を表したいと思います。

新型コロナという、まさに国家レベルの緊急事態の克服に向けて、今は多くの医療関係者、看護職の協力を得ることが、大きな課題となっています。

山形県看護協会では、ナースセンターより潜在看護師等に呼びかけ、宿泊療養ホテルへの看護職の派遣、クラスター発生時の医療体制の確保のため、病院・施設への看護職の派遣調整、そしてワクチン接種会場へ看護職派遣と派遣調整を担っております。これらの事業の実施におきましては、県内の看護管理者、看護職、そして施設長の皆さんからの、ご理解と多大なるご協力を賜りましたお陰で実施できています。心より感謝を申し上げます。

さて、急激な社会の変化に伴い、求められる看護の役割も多様化し拡大しています。6月18日の通常総会で、承認を得られました令和3年度の重点事業および事業計画におきましては、諸先輩が築いてこられた実績や活動を継続し、さらに社会のニーズを敏感に捉え、取り組めるよう努力していきたいと思います。

また、2025年、2040年を見据えた、人口減少に伴う様々な変化に対応できる地域包括ケアシステムの推進や、看護職が活き活きと働き続けられるような働き方改革と看護職確保推進、看護職の特定行為に関わる役割拡大など、力を入れて取り組んでまいります。

会員の皆さんが職場において看護活動しやすいよう、皆さまのご意見をお聴きし、看護職能団体として発展していくよう、尽力してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



会長としての6年間を振り返って

～看護の力で未来を創る～

前会長 井上 栄子



私は、平成27年に会長に就任し、3期6年間、常任理事としての1年を含め7年間お世話になりました。会長として全力で取り組んでまいりました。皆さまからご協力とご支援をいただき、充実した貴重な時間を過ごすことができましたこと、心より御礼申し上げます。

会長として成し遂げたいこととして、「地域全体で看護の質を上げる事、住民（患者）は地域に戻る」地域のあらゆる場所で質の高いケアを受けられるようになると、つまり急性期から慢性期、在宅へ医療・看護をスムーズに継続していくためには、地域全体で看護力を強化することが重要と考え、取り組んでまいりました。6年間の中で注力したことは、①看護管理者（保健師）等のネットワークづくり②看護職の労働環境改善、ワーク・ライフ・バランス事業③地域包括ケアシステム構築・推進の強化として、訪問看護に関する事業、そして最上北部医療圏の訪問看護の空白地域に、訪問看護ステーション「新庄サテライトまむろ川」設置・運営④県委託による訪問看護総合支援センターの開所⑤新聞・テレビ等による情報発信⑥第51回日本看護学会ー在宅看護ー学術集会（Web学会）⑦新型コロナウィルス感染症の対策の体制づくり等であります。病院や福祉施設で新型コロナウイルスのクラスター（感染集団）が発生した場合の看護職派遣体制を、県と検討を重ねて、看護職派遣調整の仕組みを整えました。全67病院のうち31病院が登録、全72訪問看護ステーションのうち13か所が登録し、ネットワークの強さを実感しました。

振り返ってみると、いろんなことがありました。日本看護協会の委託事業を受け、役職員と共に、意見交換しながら実施し、また県との話し合いを行いながら、事業が継続できるように心掛けてきました。そして、新型コロナウィルス感染症への取組みは、職員一丸となって実施してきました。現場の会員の皆様、日本看護協会との連携、役職員の力であり、変化に柔軟に対応できる組織として、誇りに思います。

「住民（患者）は地域に戻る」ということを念頭に、地域全体で看護の質を上げること、地域の看護力強化のためのネットワークづくりをしてきました。看護管理者、保健師等がお互いの役割を理解して、地域の課題を共有し、他職種とも更なる連携の充実をこれからも願っています。

コロナ禍での経験は、看護・医療・介護従事者への関心を高めました。今こそ看護職が役割発揮できるときであります。県民の皆さまの幸福と健康の向上のため、看護職が力を発揮し、柔軟に対応していく時です。

「看護の力で未来を創る」これからあらゆる場で活躍する看護職の皆さまのご健康とご活躍を祈念いたします。

6年間、ご支援していただきました皆さんに心から感謝申し上げます。

最後になりますが、今後は若月裕子会長のもと、山形県看護協会が益々発展されますようにお祈りいたします。ありがとうございました。



新☆ 役員挨拶

よろしくお願ひします

常任理事

常任理事に就任して

常任理事 菅野 弘美

人生百年時代あらゆる場で看護が求められ、さらに昨年からの新型コロナウィルス感染症に対峙するなか、看護職への期待はますます高まっています。変革の時代、看護職が専門職として人々の暮らしに寄り添う看護が実践できるよう、現場の声に耳を傾け、皆様とともに取り組んでまいりたいと思います。皆様のご指導をいただき精一杯務めたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



常任理事

常任理事に就任して

常任理事 後藤 道子

通常総会において理事選定の承認をいただきましたことに感謝申し上げます。協会勤務は4年目を迎え看護へのニーズの高まりとともに看護協会が果たす役割も多様化してきています。

令和3年度の7つの重点事業、新型コロナウィルス感染症対策にかかる体制整備や看護職の派遣等について、微力ではありますが新会長の方針のもと業務を的確に遂行していくとともに、働きやすい職場つくりに取り組んでいきたいと思います。



会計担当理事

会計担当理事に就任して

会計担当理事 中嶋 恵子

会計担当理事として改めて責任ある役割の重さに身の引き締まる思いであります。

新型コロナ感染症により活動が制限される状況ではありますが、山形県看護協会のあるべき姿「地域とともに築く看護」にむけ事業が円滑に運営されるよう、諸先輩方のご指導をいただきながら精一杯努めたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



保健師職能理事

新役員の抱負

保健師職能理事 後藤 順子

引継ぎを終え、理事としての責任の重さに不安と戸惑いを感じておりますが、会員の皆様のご協力をいただきながら頑張っていきたいと思います。

COVID-19によって保健師活動は感染症の予防から、ワクチン接種の対応に大忙しだですが、保健師としての地域住民に対する本来の業務を見直す機会でもあると思います。市町村や保健所の活動が、少しでも良くなるように取り組んでいきたいと思います。



看護師職能Ⅰ理事

看護師職能Ⅰ理事に就任して

看護師職能Ⅰ理事 丸山 邦

引継ぎを終えて、改めてその責任の重さと役割の大きさに重圧を感じ不安と緊張でいっぱいになっておりますが、皆様のご協力をいただきながら委員長の役割を果たしていきたいと思います。少子高齢化に加え新型コロナウィルス感染症の影響が大きくなっています。看護師職能を取り巻く現状について情報収集し、課題の明確化に向けて取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。



監事

監事に就任して

監事 高橋 由美

役割と責任の重さに身の引き締まる思いであります。

監事としての役割を理解し、山形県看護協会の事業が的確に実施されるよう、役員や会員の皆様のご意見、ご指導を頂きながら、役割を果たしてまいりたいと思います。

コロナ禍でまだまだ多くの制約がある厳しい中ですが、看護協会に貢献できるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



看護フェア

5月12日は看護の日です。当協会では、「看護の日・看護週間」事業の「看護フェア」の一環として、「新型コロナウイルス感染症の対応で奮闘する看護職への応援メッセージ」を募集しました。県民の皆さんから、心温まる応援メッセージや、思い出深い看護エピソードなどをたくさんお寄せいただきました。

6月1日には、山形市立第一中学校の生徒の皆さん約250名から、応援メッセージをいただきました。生徒会の保健委員会が中心となり、「善心 架け橋活動」として取り組まれたもので、星形のカード一枚一枚にメッセージが綴られています。

また、これからのかの看護を担う、山形県立山辺高等学校看護科・専攻科の皆さんからも、心温まるたくさんのメッセージをいただきました。

6月30日には、山形県議会議員の皆さんより、感謝と応援のメッセージをお届けいただきました。

これまで約420名の皆さんより応援メッセージをお寄せいただきました。新型コロナウイルスに立ち向かう看護職の心の支えや、大きな力になってくれることと思います。応援メッセージを多くの方にお届けしたく、当協会ホームページへの掲載と、協会内への掲示を行っております。皆さん、是非ご覧ください。

コロナ禍で奮闘する 看護職への応援メッセージ



山形市立第一中学校の皆さんより(令和3年6月1日)



山辺高等学校看護科の皆さんより(令和3年6月25日)



協会ホールの写真



山形県議会議員の皆さんより(令和3年6月30日)

医療従事者の皆様

今、日本、世界がコロナウイルスと闘っている中、医療の最前線で働いていただき、ありがとうございます。皆さんに働いていただいているおかげで、私たちは元気に生活ができます。私たちの学校では、手洗い、換気、マスク着用など感染対策を徹底して行っています。これからもお体に気をつけて、お仕事頑張ってください!!

そして、コロナウイルスが一日でも早く終息することを願っています。

山形市立第一中学校 山口さん

我が家は、私は福祉施設従事者、嫁、息子夫婦は、市内で看護師として医療、看護職として働いています。

昨年からのコロナ感染症として、日中、最前線で奮闘している家族へ、一言エール。

「いつか必ず笑顔が見られる日が来ますように」

最後に、医療看護職を目指すかたに、コロナに負けず社会の役立つ方になってください。

米沢市 鈴木さん

いただいた応援メッセージ(抜粋)

看護師のみなさんへ

最前線で頑張っておられる看護師の皆さんに敬意を表し感謝申し上げます。心無い人からの誹謗中傷等ある中、皆さんのご努力に頭が下がります。

応援しております。頑張ってください。

酒田市 サンユーさん

Thank You !!
毎日、私たち県民のために最前線で
勤めてくださりありがとうございます。私たちも
マスクや手洗いうがいをこれからも気を抜けず
精い、日々、実績の総括になるとおり努めます。
今後の実績でも世話になります。

よろしくお願いします。



職能合同研修会を開催して

【会長講演】会長として6年間の活動～看護の力で未来を創る～

公益社団法人山形県看護協会 前会長 井上 栄子 氏

【特別講演】人生100年時代に向けての新しい看護ケアの展開～第6のフィジカルアセスメント～

【講師】東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学/創傷看護学分野 教授 真田 弘美 氏

看護師職能Ⅰ 前委員長 竹田 恵美子

今年度の職能合同研修会は、新型コロナウィルス感染症状況を鑑み、感染防止の観点から規模を縮小し、講師と会場・各施設をつないでWeb(Zoom)研修を開催しました。ポストcovid-19がもたらしたものは1年前では考えられなかつたことです。地方山形でもリモートで身近に講師のお話を感じながら、最新の情報を得ることができました。

会長講演では、「患者は地域に戻るため、病院の看護の質だけを上げてもつながらない。地域全体の看護の質を向上する。これからは地域包括ケアシステムが重要な鍵となる。」という信念のもと、山形県の看護を牽引してくださったことが印象に残りました。私たち看護師の使命は、地域全体で継続した看護が展開できるよう努めることです。井上会長の6年間のご功績に感謝いたします。

特別講演では、真田先生の専門である『看護理工学』の観点から、人生100年時代「年を取るもの悪くないなと思える社会を目指して」研究を重ね、数多くの特許製品が生み出されました。私たちの現場でよく見られるエアマットや皮膚保護オイル、紙おむつ等が、①我慢せれない療養生活の実現 ②苦痛を訴えることができない療養者のための新しいケア技術だと確信しました。

第6のフィジカルアセスメントはエコーでの可視化です。2040年を見据えた医療・福祉は平均寿命から幸福寿命の延伸であり、未来に向けて何を目指していくなければならない。人と先端技術が共に生きる時代、共生です。看護師が聴診器のようにエコーを使う時代へとシフトしていきます。私たちは柔軟な姿勢で、挑戦していかなければならないと感じました。

真田先生が大切にしている看護は、『生きる力を見る そして、最期まで護る』ということ、『真に看護に必要だったら行動しなさい』という師(日野原先生)の教えが原点にあることに深い感銘を受けました。その言葉を胸に刻みたいと思います。

これから私たちは未来に向けて何を目指していかなければならないのか、力強いメッセージをいただいた研修会となりました。



保健師 職能だより

保健師職能委員長 後藤 順子



2021年度の活動がスタートします。

2021(令和3年度)度の通常総会において、下記の保健師職能委員会の重点活動を御承認いただきました。

- ・保健師の力量形成のための現任教育の充実
 - ・地域包括ケアシステムにおける保健師の役割発揮
 - ・新型コロナウィルス感染症対応状況の共有による保健師活動の強化
- 今年度も、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。
- 新型コロナウィルス感染症対策で、業務が多様化・逼迫している状況ですが、Zoom機能も活用しながら、Hybrid方式で研修等も実施していく予定です。もしコロナが収まり、対面での研修が可能になったら、集まって交流をしましょう。

第1回目の保健師職能研修会は、昨年も好評だった「災害＆新型コロナへの対応」を8月28日に予定しております。ワクチン接種等で忙しいとは思いますが、新型コロナへの対応から、「災害」への備えをしっかり学習し、「災害」における保健師としての役割と機能を再確認し身につけましょう。

第2回目の保健師職能研修会は、昨年中止した「保健師交流会」を11月に企画しています。新型コロナ対応で日々の業務が一杯一杯になっていませんか。「保健師活動の醍醐味」の講演の後に、フリートークの時間を設けています。Web機能を用いて、交流を深めましょう。

第1回 研修会のお知らせ

日 時 8月28日(土) 13:30～15:30

テ マ ① 病院でのクラスター対応(体験発表)

② 新型コロナウィルス感染症に学ぶ“災害”への備え

講 師 山形県立中央病院 森野 一真 氏 他

保健師職能委員

委員長	後藤順子	山形県立保健医療大学
山形支部	服部祥子	西川町役場
山形支部	鈴木友里絵	中山町役場
最北支部	原田真由美	舟形町役場
庄内支部	須田ふみ	遊佐町役場
庄内支部	庄司由貴	庄内保健所
置賜支部	大木陽子	白鷹町役場

看護師 職能Ⅱだより

看護師職能Ⅱ委員長 伊藤 満生



在宅領域の看護師の明るい未来を目指して

昨年度まで2年続けてフットケアの実践研修会を企画しました。在宅領域小規模施設の看護師を対象にしましたが臨床で働く看護師の参加者が多く、関心の高さが伺えました。研修後のアンケート結果からも実践につながる研修会との評価が得られました。今年度も感染対策を行い実技演習での研修会を企画しました。

現在、新型コロナウィルス感染症蔓延などのリスクの中、限られた人員での看護実践が行われ、身心ともに負担の多い現状が予測されます。基本に立ち返り、双方にとって安全安楽で心地よい支援を日常看護の実践に生かせることを目的とし今年度は「安全安楽な移乗と未来を拓くポジショニング」と題して実技演習研修会です。皆様の参加をお待ちしています。ぜひ、現場の声を教えて頂きたいと思います。

研修会のお知らせ

日 時 10月9日(土) 13:30～16:30

テ マ 中小規模施設・介護施設で働く看護師のための研修
—安全安楽な移乗と未来を拓くポジショニング—

講 師 山形大学大学院医学系研究科看護学専攻・看護学科
地域看護学講座在宅看護学 教授 松田 友美 氏

看護師職能Ⅱ委員

委員長	伊藤満生	訪問看護ステーションやまがた
山形支部	松田水月	羽陽学園短期大学
山形支部	矢萩節子	介護老人保健施設紅寿の里
山形支部	開沼佳代子	特別養護老人ホームやまのべ荘
最北支部	長岡由美	町立金山診療所
置賜支部	井上美智子	介護老人保健施設サンプラザ米沢
置賜支部	宮崎陽子	特別養護老人ホームさいわい荘

助産師 職能だより

助産師職能委員長 佐藤 清美



研修会のお知らせ

日 時 10月9日(土) 13:30~16:30
テーマ 妊娠期から支援を要する妊産婦とのかかわり方を学び地域連携に活かそう
講 師 山形県立こころの医療センター医師 米野 宏和 氏

「助産師の専門性を発揮して継続した母子支援を」

新型コロナ感染症の拡大は、感染予防対策として立ち合い出産の中止や里帰り分娩の受け入れ制限など母子支援に多大な影響を及ぼしました。そのような中でも妊産婦を支援する活動はさまざまに形を変えて提供されてきました。

山形県の周産期を取り巻く現状では、出生数の減少・産科病棟混合化、実践能力の高い助産師育成など様々な課題があります。助産師職能委員会では母子のための地域包括ケアを推進し、妊娠期、出産、子育て期においても地域と連携して継続した母子支援を行っていくための活動を行っていきます。助産実践能力強化の体制整備はもちろんですが、多職種と協働し助産師一人ひとりが、周産期医療環境の変化に対応しながら、より実践能力を強化していくことが重要と感じています。

また、県内の様々な場所で働く助産師を繋げる役割を果たしていくように助産師職能委員が連携して活動していきたいと思っています。活動推進のために会員の皆様からの意見とご協力をお願いします。

<2022年CLoCMiPレベルⅢ認証更新申請要件一部変更について>

2022年より、アドバンス助産師の更新申請要件は、技術面と知識面を統合し、研修受講等の実績をもってCLoCMiPレベルⅢに到達していることを確認するものに変わります。

◎2020、2021年の更新申請区分は一つに統合され、所属施設、役職、就業状況に関わらず、要件を満たしていれば更新申請可能となります。詳しくは、全国助産師教育協議会ホームページをご覧ください。

看護師 職能Ⅰだより

看護師職能Ⅰ委員長 丸山 邦



「地域包括ケアのさらなる推進に向けた 地域づくり」に向けて

山形県内では、地域包括ケアシステムが推進され、地域の課題に対しそれぞれの場で活動する看護職が、ネットワークを構築し課題解決に向けて取り組んでいます。

地域ごとの顔の見える関係作りから始まり、サマリーの統一化などの体制づくり、そして地域づくりへとその活動が広がっています。地域の課題を共有し、新たな看護サービスの創出する活動ができるよう、その人の生活の視点を重視し、保健・医療・福祉をつなぎ、その人らしく地域で暮らせるように、地域の課題やニーズに合わせた看護の提供ができるよう役割発揮していくことが求められています。

地域に「つながる看護」を実践していくために、さらに看護力を高めていくよう、現場のみなさんの声を教えてくださるようご協力をお願いいたします。一緒に看護の専門性・独自性を再確認して、看護が担う役割を病院から地域に開き発信ていきましょう。

研修会のお知らせ 皆さんのお参加をお待ちしています!!

日 時 10月8日(金) 10:00~16:00
テーマ 「身体拘束をしない看護」を目指すための工夫
講 師 石巻赤十字病院 老人看護専門看護師 日向 園恵 氏

高齢者や認知症のある人に対して、尊厳のあるケアを実現するために、どのような工夫が行われているのか、倫理的な視点から「身体拘束しない看護」と一緒に考える機会にしましょう!!

*新型コロナウイルス感染症の発生状況により開催方法が変更となる場合があります。

看護師職能Ⅰ委員

委員長	丸山 邦	鶴岡市立荘内病院
山形支部	阿部 久美子	山形県立中央病院
山形支部	木村 典子	山形市立病院済生館
最北支部	高久由加	山形県立新庄病院
庄内支部	小林 純子	山形県立こころの医療センター
庄内支部	菅原 真紀	鶴岡協立病院
置賜支部	加藤 匠	公立置賜総合病院
全支部から	笠原 真樹	篠田総合病院
全支部から	菅原 真理	順仁堂遊佐病院

<看護師職能Ⅰ委員会では、以下の重点活動を展開してまいります>

- ・病院看護師の在宅療養支援力と地域に繋げる看護の強化
- ・新型コロナウイルス感染症の対応に関する情報収集と課題の明確化
- ・勤務環境改善の推進
- ・看護師職能Ⅱ及び在宅ケア推進委員会との連携強化

新型コロナウイルス感染症による他施設への 感染症対策応援派遣ナース活動を終えて

寒河江市立病院 看護師 白田 久美

令和3年4月12日から4月25日までの2週間、私は、山形県看護協会の感染対策応援事業、感染対策派遣ナースとして、山形徳洲会病院に出向しました。当院は支援医療機関として登録しています。看護師長から、登録時に出向希望の有無について確認がありました。この時私は、感染対策の専任でもあり、自身のスキルアップも含め出向希望の意思を提示していました。

今回は実際のコロナウイルス感染症病棟への派遣ではなく、コロナ病床で対応する為に欠員となった病棟への応援業務でした。要請を受け、病院組織や、業務内容の流れも違う為、派遣先の病院に行くまでは大変不安でした。実際の業務内容は主に、点滴準備や包交介助、食事介助、口腔ケア、透析患者の移送等を行いました。初めの1週間は何もわからない中での業務のため戸惑いの連続でしたが、1週間経過した頃には、自立し業務を遂行することができました。今回の派遣業務では、日々の看護業務の中で、実践力をつける大切さを感じました。派遣業務を行うことは、自身の病院内では気づけない様々な業務やケア等を学び得る貴重な経験だったと思います。また私達も、いつ同じような派遣協力を依頼する立場になるかわかりません。そのような事態に備え、今回の経験を活かし、業務手順等の整備をしていく必要があると感じました。派遣にあたりご支援いただいた山形県看護協会はじめ山形徳洲会病院の皆様に感謝いたします。

支援看護師を派遣して

至誠堂総合病院 看護部長 犬石 里香

今回、山形県看護協会よりナース派遣の依頼があり、4月12日から1週間、看護師1名を支援に出すことが出来ました。2月に「感染症対策応援派遣ナース事業」へ登録していたものの緊急の依頼で慌てました。派遣先は、受入れ施設ではないが陽性の患者対応をする事になったという病院でした。市内では感染者が増加し病床利用率も高い状況であり、受入れを決断した事に敬意を表すると共にぜひ協力したいと思いました。すぐに副看護部長と受諾する事を確認し病院長・事務幹部より承諾を得て、各師長を招集し打ち合わせを行い全体で意思確認をし準備をすすめました。

派遣先は一般的の病棟で主に日常のケアをさせていただきました。支援に行った看護師からは「大変な状況の中、皆さんとてもがんばっている。色々気配りしていただいた。もっと力になれる事があったのではないかと感じた。」という報告を受けました。感染対策の工夫や多職種の協力体制など学ばせていただく事もあったとのことです。貴重な経験となりました。いつ起こるかわからない状況に速やかに対応できるように、普段から備えと構えが必要だと実感しました。今後に活かしていきたいと思います。また、より連携を深め地域の医療を守るために協力していきたいと思います。

新型コロナ陽性患者受け入れを行って

山形徳洲会病院 看護部長 井澤 照美

2021年4月6日、山形市保健所より、新型コロナ陽性患者の受け入れ要請がありました。

山形徳洲会病院は、透析患者受け入れ病院であるため、発熱外来、新型コロナ陽性患者の受け入れには対応をしていない病院です。また、3月末に、当院の通所リハビリセンターで、新型コロナ感染、クラスター発生により、その対応に追われている状況でした。しかし、当院だけでなく、市中の感染も拡大しており、新型コロナ陽性患者受け入れ病院での逼迫している状況は、毎日の報道からも伺えました。

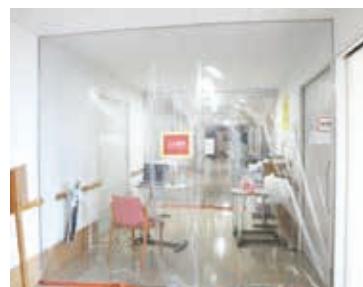
翌日2021年4月7日に、病院長より、新型コロナ陽性患者1名の受け入れ指示がだされ、その日の午後に患者受け入れとなりました。新型コロナ陽性患者病床で勤務する看護師を各病棟から4名選出し、勤務体制を組み対応することができました。

ブロック内の認定看護師や行政から、ゾーニングの確認指導も即入ってもらいました。

また、看護協会から病棟スタッフの人員不足に対する看護職員の派遣を速やかに対応してもらうこともできました。即戦力のある力強い応援でした。

今回、緊急事態へ対応する中で実感したことは、新型コロナ感染対策への備え、職員の新型コロナ陽性患者対応への姿勢、そして、何より全体の協力体制が重要であるということでした。

さらに、どのような状況へ変化していくかわからないこの環境下において、病院や施設間、行政との連携が重要であり、今後も大切にし、体制作りに努めていかなければならぬと思います。



訪問看護ステーション

●ポケットエコーを導入して・

公益社団法人山形県看護協会
訪問看護ステーションむらやま 所長 須藤 京子

当ステーションでは、令和3年2月よりポケットエコーを導入しています。まずは、頭で考えるより使ってみようと思い、職員間で自分の身体にあて膀胱がどのように変化するのか勉強してみました。そしてAさんのBaの抜去を試みています。Aさんは尿閉の為Baが挿入されており、退院時にBa抜去を試みましたが自尿なく再挿入となり自宅に戻っています。当初は寝たきりで、尿意、便意もなく定期的な排泄ケアが必要な状態でしたが、訪問を重ねるたびに動作能力が拡大してきています。本人はBaを指し、「これさえなければ…」と言っていました。そこで、抜去について主治医に相談した所「無理だと思うよ。でもやってみたら」と許可があり、抜去しています。抜去後、残尿は多かったがなんとか自尿は見られています。訪問毎、ポケットエコーで評価していくうちに、膀胱内の残尿が殆どなくなっています。現在は布パンツとなり、さらに動作能力が拡大したことにより、尿意、便意も戻りトイレ訓練を行っています。この結果に私たち看護師はもちろん、本人も驚いています。エコーを使用し画像評価を行うことで安心して経過観察を行うことができたと思っています。今後もエコーを使用いろいろな可能性を模索しながら在宅ならではの看護を提供していきたいと思います。



[Ba 抜去後]



[10日後]



現在の様子



山形市立病院済生館 緩和ケア認定看護師 色摩 慶子

緩和ケア認定看護師の資格を取得してから、早くも11年の月日が経ち、2年前からは、緩和ケアチームの専従看護師として活動をさせて頂いています。苦痛を抱える患者さんやご家族へのケアが中心であり、お看取りなど最期の時に接することも少なくありません。もっと苦痛を緩和できたのではないか、関わるスタッフのサポートはできたのだろうかなど、自分自身の無力さを感じる事もたびたびです。

このような日々の中で、次第に心のコップに様々な思いやジレンマがたまり、溢れそうになるのを実感します。そんな時は、意識して、気持ちの切り替えを行うようにしています。私のリフレッシュは、まだ小さなわが子たちと母親としての時間を過ごすこと、挽きたてのおいしいコーヒーです。無邪気な子供たちに振り回されながらお世話をすること、晴れた公園で日焼けも気にせず無心で遊ぶことは、心を軽くする何よりの時間になっています。大好きなコーヒーの香りは心と身体をそっと癒してくれます。そして、当たり前の何気ないこの瞬間が、いかに貴重でありがたいことを強く感じる時間にもなるのです。

コロナ禍もあり、子供たちと行きたいと思っていた夢の国や動物園は少しお預けになっていますが、そんな楽しみを胸に秘め、自分が果たせる責務を全う(どこかで聞いたセリフ?)していきたいと思います。これからも、心の声を大切にしながら、患者さんやご家族としっかり向き合い、少しでも寄り添っていけばと思っています。



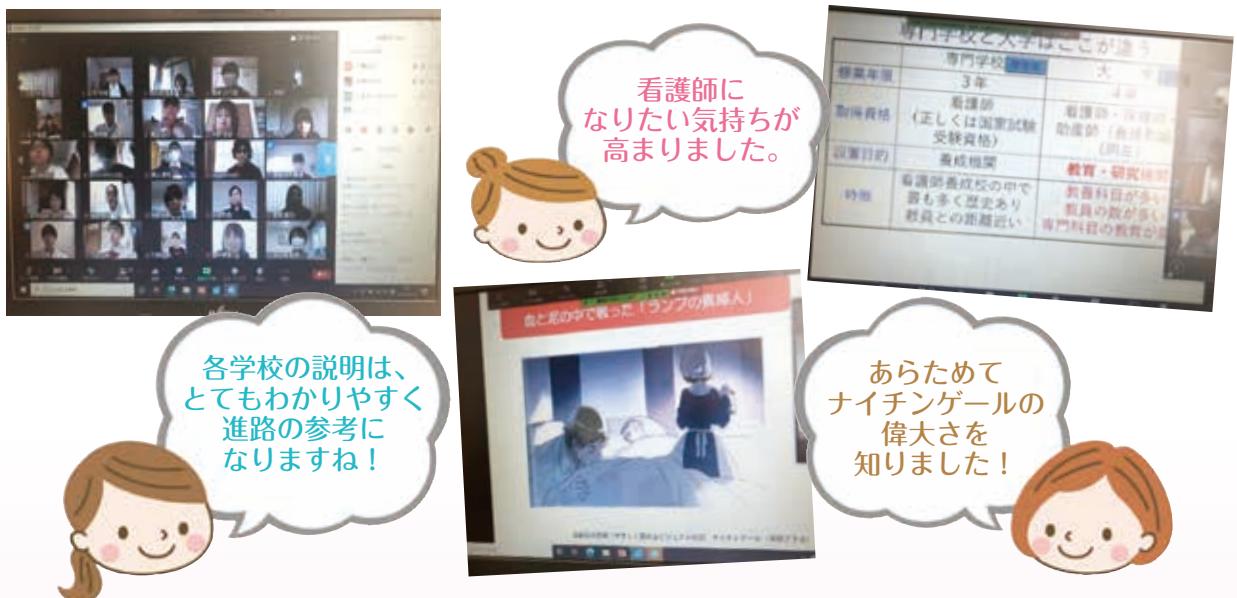
山形県ナースセンターだより

あなたの未来を
応援します！

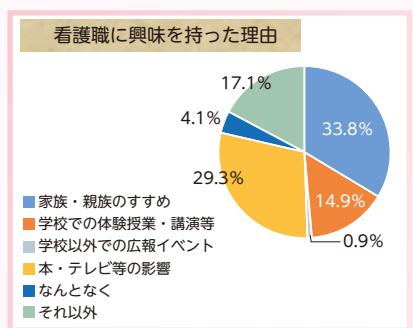
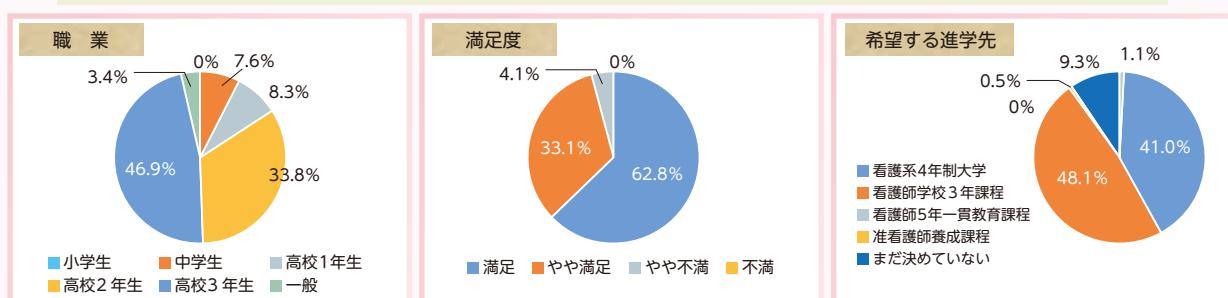
「オンライン看護学校等進学説明会」

終了しました

5月16日(日)、中学生・高校生・保護者等を対象に「オンライン看護学校等進学説明会」を開催しました。県内の看護師等学校養成所9校が参加し、当日は約180名の方が参加しました。各看護師等学校養成所の担当者より、学校の特色や授業風景などを紹介され、未来の看護職たちは真剣な眼差しで説明を聞いていました。また、「ナイチンゲールの歴史と功績」のコーナーでは、あらためてナイチンゲールの偉大さを実感し、心温まる時間となりました。コロナ禍での開催となり対面での開催を希望していた方も多くおりましたが、一人でも多くの方が医療や看護に興味持っていただけ幸いです。



参加者の声を紹介します（アンケート結果から）



- ・コロナ禍でオープンキャンパスになかなか行けない中でしたので、このような機会を設けてくださいありがとうございました。看護師になる夢を叶えるために、勉強を頑張って行こうと思います。
- ・去年、今年とコロナウィルスの影響で各学校オープンキャンパスが無い中で、このような会を開いて頂きありがとうございました。将来看護師になりたいという思いが一層強まりこれからも勉学に励みたいと思いました。
- ・すごくわかりやすくて楽しかったし、看護系を目指している人はこんなに多いとわかりモチベーションが上がりました。



「潜在看護師等復職研修」について

山形県ナースセンターでは、ブランクのある方や復職に不安を抱えている看護職が再就業を目指すことができるよう研修などを開催し支援しています。昨年度から引き続き「e ラーニングを活用した復職支援研修」の他、今年度は「新型コロナワイルスワクチン接種に携わる看護職のための研修会」を開催しました。研修後、ワクチン接種会場や病院等でたくさんの潜在看護師等が大活躍しています！



「新型コロナワイルスワクチン接種に携わる看護職のための研修会」の様子



「e ラーニングを活用した復職支援研修」の紹介



ご希望の方は、山形県ナースセンターまでお問合せください。
(※山形県在住で現在未就業の方が対象です)



山形県ナースセンター ☎023-646-8878（直通）/e-mail:yamagata@nurse-center.net

「看護の仕事相談会」 情報コーナー

県内ハローワーク等の会場を利用し、開催をしている「看護の仕事相談会」。看護職のお仕事探しはもちろん、看護職を求めている求人施設の相談や、看護学校への進学を考えている方、職場内での悩みを抱えている方など…どんな相談にも応じています。お気軽にご相談ください。(相談会の日程は、看護協会ホームページをご確認ください)

※新型コロナウイルス感染症感染防止対策を十分におこないながら、対応させていただきます。ご利用の皆さまには、下記の事項をお願いしています。ご協力お願いします。

- ★相談前の検温実施
- ★相談時間は1時間以内とする
- ★マスクの着用
- ★アルコール消毒液による手指消毒



相談会場の様子

相談・登録は、無料です。
雇用保険受給者の就職活動にあたります。

地域で活躍する「地域相談員」を紹介！

「看護の仕事相談会」では、地域に精通した「地域相談員」が活躍中です。

各地域の医療機関のことは、お任せください。わからないことや不安なことは、一緒に解決していきましょう。



寒河江・村山・新庄地域担当
佐藤 純子



酒田・鶴岡地域担当
富樫 文子

相談会場でお待ちしています！





理事会等の開催報告

令和3年5月24日（月） 第1回理事会（Web会議）

- 審議事項 1.令和2年度事業報告・決算及び監査報告について…〈承認〉 5.令和3年度選挙管理委員会の構成メンバー(案)について…〈承認〉
 2.令和2年度各支部の事業報告及び収支報告…〈承認〉 6.令和3年度山形県看護協会通常総会及び職能合同研修会の運営について…〈承認〉
 3.山形県看護協会 合同委員会の名称変更と合同委員会の運営の手引きの一部改正について…〈承認〉 7.特別委員会「医療的ケア児等連携推進委員会」の諮問審議事項について…〈承認〉
 4.令和3年度山形県看護協会 職能・常任・特別認定委員会の委員選出(最終)について…〈承認〉

令和3年6月18日（金） 第2回理事会

- 審議事項 1.会長の選定(案) ……〈承認〉 3.常任理事の選定(案) ……〈承認〉
 2.副会長の選定(案) ……〈承認〉

令和3年6月25日（金） 第3回理事会（Web会議）

- 審議事項 1.令和3年度理事会の日程について…〈承認〉 4.委員会運営の手引きの一部改正について…〈承認〉
 2.令和3年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会について…〈承認〉 5.山形県看護協会旅費規程の一部改正について…〈承認〉
 3.令和3年度「山形県看護協会地域の看護力強化支援事業」申請書の選考について…〈承認〉

令和3年4月～6月下旬の山形県看護協会事業実施状況

令和3年4月 2日(金) 訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川・金山町との職員派遣調印式	令和3年6月 8日(火) 庄内地域看護管理者ネットワーク会議(Web会議)
令和3年5月 11日(火) 東南村山地域施設等看護管理者ネットワーク会(Web会議)	令和3年6月 8日(火) 置賜地域看護管理者会(Web併用)
令和3年5月 12日(水) 山形県訪問看護総合支援センター開所式	令和3年6月15日(火) 山形市大規模集団接種における人員配置協力開始
令和3年5月 16日(日) 看護学校等オンライン進学説明会	令和3年6月18日(金) 令和3年度山形県看護協会通常総会並びに職能合同研修会
令和3年5月 17日(月) 県内看護管理者等懇談会(Web開催)	
令和3年5月 28日(金) 山形県議会 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会における意見聴取	

在宅ケア推進委員会からの お知らせ

山形県看護協会のホームページに掲載している「山形県在宅医療連携情報」を更新しました。地域の訪問看護ステーションの紹介や、県内病院連携窓口一覧などを掲載しています。

どうぞご活用ください。



インフォメーション

◆山形県看護協会閉館日のお知らせ

夏季一斉休暇のため、右記期間は会館を閉館いたします。 令和3年 8月13日(金)・14日(土)・15日(日)

◆「日本看護協会会員手帳2022年版」の予約注文について

今年も予約注文を行う予定です。詳細は山形県看護協会ホームページでお知らせいたします。

◆会員専用WEBページ『キャリナース』にご登録はお済みですか？

会員の皆さま専用のキャリア構築を支援する会員専用WEBページです。氏名(改姓)、住所、電話番号、勤務先等の会員基本情報の変更、研修受講履歴管理も行えますので、ぜひご活用ください。



日本看護協会「キャリナース」 URL▶ <https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>

時短
レシピ

カンタン!

シリーズ
6

レンジで簡単 パプリカのマリネ

作り方

① パプリカを1cm幅に切れます
 ② 調味料をボールに入れて混ぜる
 ③ パプリカと調味料とツナを混ぜてバジルを手でちぎって完成

材料

赤パプリカ・黄パプリカ・ツナ(1缶)
 レモン汁(おおさじ1)・砂糖(こさじ1)・しょうゆ(こさじ1/2)
 塩コショウ(適量)・バジル2枚

※画像イメージ

編集後記

山形県にもオリンピック熱が来ていますね。新型コロナウイルスにも負けず、夏の暑さにも負けず、皆で協力して頑張りましょう。